

# 病害虫防除技術情報第19号

平成27年3月11日  
三重県病害虫防除所

**イチゴのアザミウマ類の発生が多くなっています！  
早期発見に努め、低密度のうちに防除してください。**

- 1 対象作物：イチゴ
- 2 病害虫名：アザミウマ類(主にヒラズハナアザミウマ)
- 3 発生状況：多い
  - (1)3月上旬の巡回調査(県内12圃場)では、発生圃場率66.7%(平成25.2%)、寄生花率5.0%(平成1.8%)と平成より多くなっています(表)。
  - (2)巡回調査圃場では、ヒラズハナアザミウマの発生が確認されました。
  - (3)一般圃場では、発生量はやや多い状況です。
  - (4)例年、アザミウマ類の発生は気温が上昇する3月以降に増加する傾向にあります。
  - (5)発生量が増加すると、花が不稔になったり、果実表面のつやがなくなり、著しい場合は褐変するなどの被害を生じます。

**表 巡回調査圃場における3月のアザミウマ類の発生状況**

調査年	発生圃場率	寄生花率
本年(平成27年)	66.7%	5.0%
平 年	25.2%	1.8%
平 年 比	多	多

- ・各圃場において100花を調査。
- ・平年は過去10年間(平成17年～平成26年)の平均値。

- 4 防除上の注意事項
  - (1)増殖力が高いため、早期発見が重要です。花をこまめに観察し、発生密度の低いうちに薬剤散布を行ってください。
  - (2)現在発生が認められない圃場でも、施設の換気に伴って野外から侵入する恐れがあります。換気口や出入口の付近で初発する場合がありますので、花芯部や幼果での発生に注意してください。
  - (3)薬剤の散布にあたっては、収穫前日数、使用回数とともに、天敵やミツバチに対する影響を十分考慮して、薬剤の選択を行ってください。

**農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。**